

きれいに暮らす 奈良県スタイルジャーナル

Vol.2

2017
October

～奈良らしい景観を目指して～



奈良モデルで取り組む「中和幹線」の景観づくり

都市計画道路中和幹線沿道の屋外広告物（看板など）に対する取り組みを行っています。

良好な景観は地域の活力向上に

景観とは、その地域の特徴によって形づくられるもので、その地域らしさや魅力を反映するものです。

しかしながら、県外でも県内でも、どの地域の幹線道路を車で走っても、同じような景色のように感じたことはありませんか。派手で目を引く色彩、デザインの看板が立ち並び、周辺との調和を欠いた雑然とした印象を受ける景観が奈良県内でも見受けられます。



中和幹線から二上山方向を望む



三輪山方向の眺め





協定の締結式



第1回 中和幹線沿道景観部会

中和地域を東西に貫く中和幹線 奈良県のウェルカムロード

幹線道路は、その地域の玄関口であり、来訪者が一番はじめに目にする場所の一つです。また移動する際にもその景色を眺め、奈良の様子を身近に感じる場所でもあります。観光地の景観も地域の魅力を伝えるために重要ですが、沿道の景観も来訪者とその地域の印象を決定する大きな要素となっています。

中和幹線は、大和高田市・橿原市・桜井市・香芝市・広陵町の5市町を東西に結ぶ主要幹線道路です。奈良県の特徴的な景観を眺望しつつ中和地域を周遊できるウェルカムロードの役割を果たす道路であり、「良好な沿道景観の形成」に取り組んでいるところです。

「渋滞の緩和」や「安全・安心な医療サービスの確保」という暮らしやすさの向上と、商業・観光の活性化により地域に元気を届けることを目指して平成22年に全線開通しました。近くには藤原宮跡や大和三山、高田千本桜、大神神社や二上山、馬見丘陵公園など奈良県中和地域の名所が存在します。また走行中、正面には奈良県の景観の骨格を形成する大和青垣の山々を眺望することができます。

奈良モデルで「良好な沿道景観づくり」

県と中和地域5市町が協力し中和幹線沿道にどのような景観があればよいかを考え、平成29年3月に「中和幹線屋外広告物ガイドライン」を策定しました。このガイドラインでは、中和幹線沿道の景観の特徴を踏まえて、エリアごとに広告物の高さや面積、色彩などに関する基準を設定しています。

平成29年5月には「中和幹線沿道の屋外広告物観向上に関する協定」を締結し、屋外広告の適正化に協働して取り組むことに合意しました。同年9月には「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会の第一回中和幹線沿道景観部会を開催するなど、県と5市町がそれぞれの役割に応じて、周知や是正指導などの取り組みを進めていきます。

道路とは、市民生活や産業活動を支え、都市の発展の基盤となるものですが、時には立地する商業施設や屋外広告物が沿道景観に雑多な印象を与えていることもあります。今後はガイドライン実現のために、協定に基づいた取り組みを進め、守るべき景観資源や、にぎわいの創出との両立を考えながら、地域の魅力を高める「奈良らしい」沿道景観の形成を目指します。

橿原市まちづくり部長 栗間 和也さんに聞きました。

橿原市は、交通の要所であるという利点を活かし、中南和地域の拠点都市として、近代的商業市街地へ発展しているだけでなく『日本国 はじまりの地 橿原』として、これまで受け継がれてきた、かけがえのない自然や歴史を守りながら、市民が誇り高く思えるような景観・風景づくりを進めています。特に、名勝指定されている大和三山の魅力向上を図るため地域住民や関係機関と協働で取り組みを進めているところです。

今回の中和幹線の取り組みでは、本市だけでなく、沿線市町が連携することで、連続性を持った、もっと大きな景観・風景づくり、例えば二上山、三輪山を含めた取り組みが行われることになると期待しています。



県道108号沿いの取り組み

安堵町花いっぱい(守ロード)事業



安堵中学校東側の県道沿いには、17面もの植樹樹が14団体の地元有志の手によって管理されています。「安堵町花いっぱい(守ロード)事業」は安堵町の玄関口である県道沿道を花いっぱいにし、気持ちよくお客さんを迎え入れたいという思いが込められています。今回は2団体にお話を伺いました。

花々に彩られた花壇(平成29年6月撮影)

みんなで作る「沿道景観」

奈良らしい景観づくりを目指して、おもてなしの心で沿道景観を彩る人々が県内各地で活動されています。今回は、安堵町と曾爾村でお話を伺いました。

ネットあんど協働たい

綺麗な花を育てるために

「ネットあんど協働たい」は、安堵町花いっぱい事業に参加して今年で3年目の団体です。毎日、水やりをして、雑草を抜いて植樹樹を綺麗にしているため、最近ではゴミのポイ捨てがかなり減ったそうです。

しかし、重いバケツを持って7・8回水道の蛇口と植樹樹を往復しないといけないことは大変です。炎天下の夏の作業はより大変なものになりま

す。それでも、「花が好き」という気持ちで、植樹の世話を続けられる原動力になっています。代表の高野ひろみさんは、沿道を散歩される方に「綺麗な花に囲まれて気持ちがいい」「この花も是非植えてください」とお声がけをいただいたこともあるようで、こういった地域の方の声がとても嬉しいと話します。

現在はおおよそ10名の方が交代で水やりをされています。今後は、1人でも多くの方にこの活動を知ってもらいたい、参加してもらいたいという目標を持って日々活動されています。



おそろいのTシャツで水やり

寂しかった沿道におもてなしの花壇ができました！

植栽前の沿道花壇（平成26年9月撮影）



手入れされた花壇

咲き誇った花を届ける

安堵町日赤奉仕団

「安堵町日赤奉仕団」は、安堵町花いっぱい事業への取り組みをいち早く始め、この活動に参加されている団体です。毎日の水やりは週替わりの当番制です。

団長である上田泉さんは、次の当番の人が気持ちよく作業出来るように、という思いを持って活動されています。各植樹柵には、管理している団体の名前が書かれたプラカードがあります。そのプラカードがあることによって気持ち引き締め、花を綺麗に育てようという思いに繋がるそう

です。

種を落とし来年また咲かせてくれる花はとても頼もしく生命力を感じます。大切にすれば、その分期待に応えてくれるので嬉しい気持ちになると語ります。

また、冬になると植樹柵にイルミネーションをして、通る人を楽しませる工夫もされています。地域の方は、いつも花壇の手入れをしている上田さんたちを見て、「ごくろうさま」「綺麗に咲きましたね」と声をかけてくれます。それもまた、この活動の原動力となるそうです。

今後は町内活性に向けて町おこしをし、町外の方がたくさん安堵町に来られた時には、咲き誇った花を見てもらいたいと、笑顔で話されました。

県道名張曾爾線沿いの取り組み

曾爾街道風景づくり隊



訪れたみんなに喜びを

奈良県の東北端に位置する曾爾村は、「日本で最も美しい村」連合への加盟を成すほど重要な文化、景観がある地域です。

「曾爾街道風景づくり隊」は、およそ30名で成り立つボランティア団体です。曾爾村の名張曾爾線沿いにある伊賀見地区で清掃美化活動をされています。現在、人口がおおよそ1500人の曾爾村で、「村を盛り上げたい」「村のみんなの花を植えたい」そんな思いで、松井進さんが平成24年に創立し、「守り道事業」にも参加されています。この事業では、名張曾爾線の中央分離帯に、春にはペゴニア・ビオラの花を植え、秋にはパンジー等を育てています。

そして、平成28年には、奈良県知事より親切・



2017年秋 アサギマダラがやって来ました。

今年3月に隊の皆さんの手によって植えられたフジバカマ。暑い夏を越えぐんぐんと育ち、ついには薄紫や白の小さな花をたくさん咲かせました。古くから日本で愛されてきたフジバカマには、2,000kmを旅する蝶“アサギマダラ”がこの蜜を求めてやって来るといいます。曾爾村にもついにその日が訪れました。



平成29年7月撮影



平成29年10月撮影



平成29年10月撮影

美化県民運動の優良実践者（クリーン・グリーン実践者）に表彰され、その活動実績は大きなものになってきています。

近年、曾爾村は子どもが少なくなってきたという問題を抱えています。そこで、村外の子ども達にも曾爾村を知って、訪れてほしいという思いを実現するために、今年3月には休耕田にフジバカマを植えるという新たな挑戦を始めました。秋の七草の1つであるフジバカマには、遙か2000kmを旅するアサギマダラという蝶がやって来るといい、海を渡る謎の蝶と注目を集めています。あざぎ色の美しく大きな蝶に子どもたちもきつと喜んでくれるでしょう。

「花を見ると心が和む。来ていただいた方に少しでも和やかな気分になってほしい」そんな思いを胸にこれからも花いっぱい伊賀見を築かれています。

大好きな花のために

観光客の増加はポイ捨てなどのゴミ問題の懸念に繋がります。しかし、実際の曾爾村はたくさん花が咲く綺麗な風景が広がっていました。

団体発足前、歩道にはゴミが捨てられていたのが目立ってしまっていることがありました。活動の一環として、花を植えたプランターを沿道におよそ2mおきに並べることで、ゴミが捨てられ

てしまうことはほとんどなくなったそうです。「あそこのプランターの花は元気かな？」活動日でもなくても週に1度は様子を見に行かれています。隊員の方々は皆さん花がお好きで、その気持ちの美化に繋がっています。

曾爾村に来られた観光客は「素敵なお花が咲いていますね」と話されます。「綺麗なお花が咲いていますね」と話されます。今では、108個のプランターが伊賀見の沿道を飾っています。

日本で最も美しい村は、隊員の皆さんによってこれからも守られることでしょう。



1



2



3



4

- 1 今から花植え作業開始!
- 2 笑いが絶えない隊員の皆さん
- 3 ホームステイ中の外国の方もお手伝い
- 4 あっという間にみごとな花壇

奈良県景観資産の紹介



奈良県景観資産を訪れてみませんか？

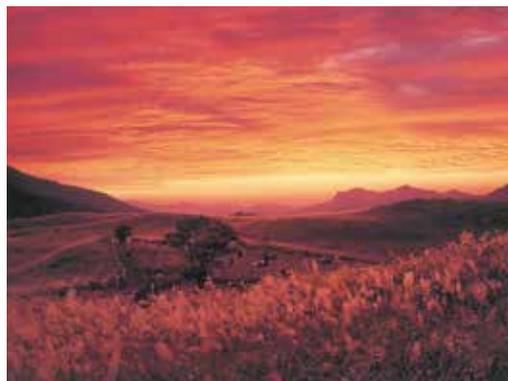
県内の素晴らしい景観、守りたい景観を、テーマを定めて一般公募の上審査し、161点を奈良県景観資産として登録しています。

奈良県ホームページ「奈良県景観資産総合案内所」をご覧ください。お出かけ先にぜひご検討ください。

http://www.pref.nara.jp/keikan_shisan/



天川村みたらい溪谷の紅葉



秋の曾爾高原

みんなで・守ロード事業

「みんなで・守ロード事業」とは、快適な道路空間の維持、向上を目的として、県が管理している道路において、草刈り・花の植栽・清掃等の活動を行っている団体に対し、報奨金の支給や物品の支給などで活動を支援するものです。

活動内容にあったプログラムで、ぜひご参加ください。

道路保全プログラム

内容：草刈り

要件：1回の参加人数10人以上、活動回数が年1回以上

支援内容：面積に応じた報奨金の支給、傷害・賠償責任保険の加入、サインボード（看板）の設置

道路美化プログラム

内容：花の植栽、清掃

要件：1回の参加人数10人以上、活動回数が年6回以上

支援内容：物品の支給、傷害・賠償責任保険の加入、サインボード（看板）の設置

詳しくは、県道路管理課または活動区域の管轄土木事務所までお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉

道路管理課 TEL：0742-27-7499

郡山土木事務所 TEL：0743-51-0205

中和土木事務所 TEL：0744-48-3073

吉野土木事務所 TEL：0746-32-4051

奈良土木事務所 TEL：0742-23-8011

高田土木事務所 TEL：0745-52-6144

宇陀土木事務所 TEL：0745-84-9522

五條土木事務所 TEL：0747-23-1151



国内最大級の文化の祭典が奈良に！

全国初の一体開催！

第32回国文祭・なら2017

第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会

2017年9月1日(金)～11月30日(木)

やまとしうるはし、おもしろし

国文祭
障文祭
なら2017

国文祭 なら

検索

<http://nara-kokushoubun.jp/>



問 国文祭・障文祭なら2017実行委員会事務局
(奈良県国民文化祭・障害者芸術文化祭課内) TEL.070-2287-3419

きれいに暮らす

奈良県スタイルジャーナル 第2号

2017年10月発行

発行

奈良県くらし創造部 景観・環境局 環境政策課

〒630-8501 奈良市登大路町30

TEL：0742-27-8732

FAX：0742-22-1668